

# 第2期 白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】

令和2年3月

白山市

## 1. 趣旨

本市では、これまでのまちづくりにおける基本的な考え方や国が示す政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえ、平成27年10月に「白山市人口ビジョン」及び「白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成30年8月に改訂）」を策定し、地方創生の取り組みを展開してきた。

今回、これらの本市の取り組みの検証結果や、国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の方針を踏まえ、計画の改訂を行うものである。

本市の総合戦略は、中長期的な将来展望を見据えつつ、具体的かつ実効性のある施策・事業を展開することにより、「まち」「ひと」「しごと」を創生することで、人口減少や少子高齢化の進行による地域経済や地域社会の縮小を克服するとともに、「SDGs（持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals）」の実現を目指すものである。

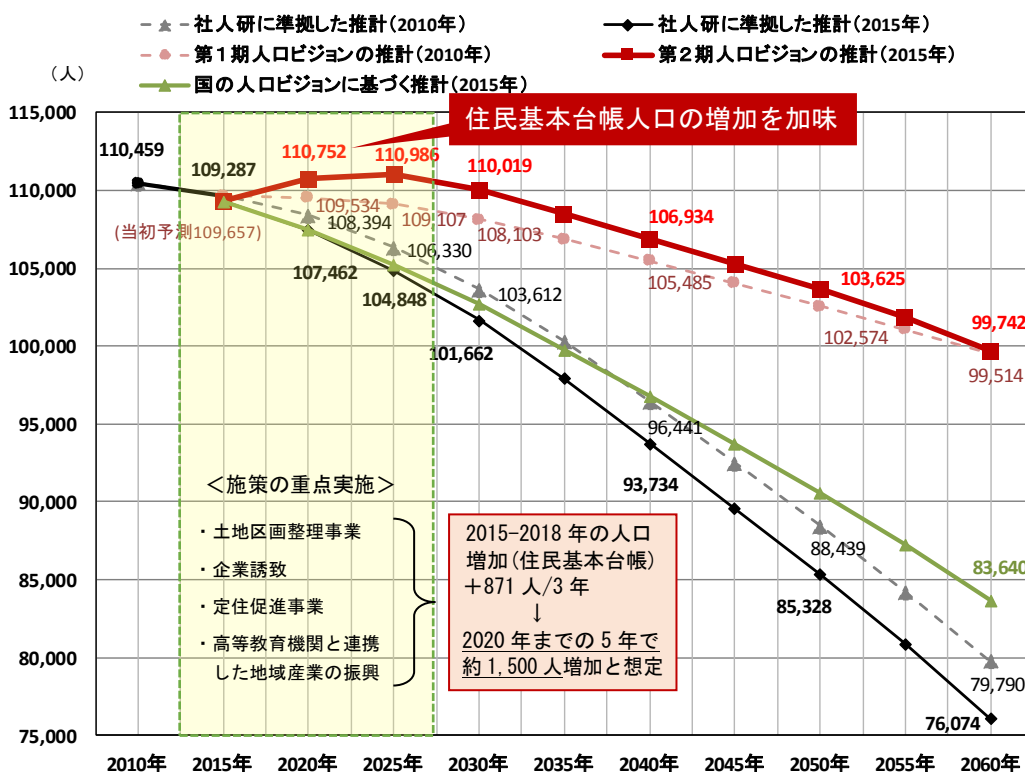
## 2. 総合戦略の期間

本戦略の計画期間は、令和2（2020）年度～令和6（2024）年度の5か年とする。

## 3. 人口の将来展望

平成27年に策定した白山市人口ビジョンでは、2060年に10万人の確保を目標としている。

第1期戦略の施策を実行した結果、想定した人口よりも多くの社会増加（転入超過）に転じ、住民基本台帳上は2010年よりも人口が増加していることから、令和42（2060）年の目標人口は当初の通り、10万人の確保を目指すものとする。



## 4. 第2期総合戦略の基本的方針と4つの基本目標

### 1) 第2期総合戦略の基本的方針

## 健康で 笑顔あふれる 白山市

-持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の実現を目指して-

白山・手取川・日本海の豊かな自然環境と育まれた歴史・文化などの恩恵を最大限に保全・活用するとともに、子どもから高齢者まで誰もが「学び」「成長」「挑戦」できる環境を構築し、「まち・ひと・しごと」の各方面において健康で笑顔があふれる、持続可能な地域や社会の実現を目指す。

なお、総合戦略の推進にあたっては、SDGsの理念に沿って、市民や地域団体、NPO、企業などの多様な主体と連携・分担を行い、社会・経済・環境に関わる様々な課題を、総合的な視点をもって解決する。また、IoT<sup>※1</sup>やAI<sup>※2</sup>、ICT<sup>※3</sup>などの技術を活用しながら解決する視点をもってSociety5.0の実現に取り組む。

国の総合戦略における4つの基本目標を踏まえつつ、白山・手取川・日本海を軸とする本市の地域特性や目指す将来展望を勘案し、総合戦略の4つの基本目標を定める。

- ※1 IoT：モノのインターネット。Internet of Things の略。
- ※2 AI：人工知能。Artificial Intelligence の略。
- ※3 ICT：情報通信技術。Information and Communication Technology の略。



【国連 SDGs カラーホイール】

### 2) 基本目標

- 基本目標 1** 商工業の集積と農林水産資源を活かした  
「仕事・雇用」創生戦略
- 基本目標 2** 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした  
「観光・交流」創生戦略
- 基本目標 3** 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる  
「健康・福祉・教育」創生戦略
- 基本目標 4** 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ  
「都市・地域」創生戦略

## 5. 施策の基本的方向と成果指標など

基本目標

1

### 商工業の集積と農林水産資源を活かした 「仕事・雇用」創生戦略

既存の産業基盤を活かすとともに、伝統産業や商店街の活性化、中小企業などの育成・支援のほか、観光事業者との協働による観光産業の推進を産学官民の連携により多様で付加価値の高い産業の集積を促進することで、新しい「しごと」（雇用）の創出を図り、市民（特に若者や女性）の働く場の確保と安心して働ける環境の創出を目指す。



（6次産業化チャレンジ支援事業により開発された商品）

#### <施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

##### （1）市内中小企業の振興による雇用機会の創出と創業支援

- ① 中小企業の育成及び競争力強化
- ② 創業支援の推進
- ③ 商店街の活性化
- ④ 若者や女性への就労等の支援

##### （2）白山の恵みである農林水産資源を活かした仕事の充実・創造

- ① 農林水産物の販売促進及び付加価値の向上
- ② 新たな地域特産品の開発及び販売促進
- ③ 担い手の確保及び生産基盤の充実

##### （3）大都市からの人材還流を見据えた企業誘致の推進

- ① 新たな雇用の創出に向けた企業誘致の推進
- ② 市内企業等における就労の拡大と人材の確保

#### <成果指標>

成果指標	基準値（H30）	目標値（R6）
市内従業者数	54,992人	55,900人
女性の就業率	53.3%	54.6%

基本目標

2

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした  
「観光・交流」創生戦略

本市の魅力<sup>ひ</sup>をさらに磨きつなぎ合わせ、市内外の人を惹きつける魅力の発信及び受け入れ態勢の強化などにより、市外からの観光誘客や移住などにより、交流人口のみならず、関係人口の拡大を図るとともに、市内での地域間の交流（地域内関係人口）を促進することで、新しい人の流れを創出する。



(ジオツアー)

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 移住・定住を支える事業・制度の充実

- ①移住・定住施策の推進
- ②受け入れ態勢の強化及び情報発信

(2) 山・川・海の魅力を活かした交流人口の拡大

- ①地域資源を活かしたイベントの開催
- ②交流拠点となる地域や施設の整備及び利活用の促進
- ③地域の魅力の向上と発信
- ④白山総合車両所等の活用による観光・産業振興の強化

(3) 観光資源の魅力の発信と受け入れ態勢の強化

- ①国立公園白山とその周辺地域（白山手取川ジオパークを含む）の観光資源を活用した観光誘客
- ②白山総合車両所や企業等を活用した産業観光の推進
- ③観光消費拡大等の受入環境の整備
- ④自然、文化、スポーツ等を活用したツーリズムの推進

(4) 地元大学や企業等との連携による地域活性化の推進

- ①市内・県内での進学や就職の促進
- ②大学と地域や企業等との連携の強化

(5) 地域外の人材による関係人口の拡大

- ①本市出身者等との関係強化
- ②地域外の人材による地域づくりの担い手の確保

<成果指標>

成果指標	基準値（H30）	目標値（R6）
人口の社会増減数	転入超過 511 人	5 年間で 転入超過 2,500 人
観光入込客数	4,850,567 人	5,200,000 人

基本目標

3

安心して子どもを産み育て生涯活躍できる  
「健康・福祉・教育」創生戦略

結婚・妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するとともに、若い世代の仕事と子育ての両立や高齢者や障害者を含め、地域のつながりと支え合いの中で、誰もが活躍できる環境づくりを推進することで、人生100年時代に向けた暮らしの質（QOL）の向上や「健康都市 白山」の実現を図る。



(元気に遊ぶ園児)

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援の充実

- ①結婚活動の支援
- ②妊娠・出産への支援の充実
- ③子育てへの支援の充実
- ④地域での子育て環境の充実
- ⑤若年層の定住支援

(2) 子どもから高齢者まで生涯学び続けられる教育環境の充実

- ①郷土愛・健康な心と体を育む教育の推進
- ②誰もが安心して学べる環境の整備
- ③生涯学習の推進

(3) 女性や中高齢者、障害者などが安心して活躍できる環境の充実

- ①仕事と家庭の両立の支援
- ②共生のまちづくりの推進
- ③誰もが活躍できるまちづくり

(4) 医療・福祉の充実と健康づくりの推進

- ①医療体制の充実
- ②健康寿命の延伸
- ③支え合いの体制づくり

<成果指標>

成果指標	基準値 (H30)	目標値 (R6)
合計特殊出生率	1.59	1.67
健康寿命 (平均自立期間) 【参考】男性=国 79.6 歳、県 79.7 歳 女性=国 84.0 歳、県 84.1 歳	男性 80.4 歳 女性 84.8 歳	男性 80.6 歳 女性 85.0 歳
要介護・要支援者の割合	16.7%	18.4%

基本目標

4

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ  
「都市・地域」創生戦略

平野部から白山ろくに広がる特色ある地域特性を守りながら、将来的な人口減少及び高齢化などの時代の変化による多様化する地域や社会の課題解決に向け、地域間及び広域的なネットワークの強化や多様な主体の連携と協働により、白山ろく地域の活性化や市民が地域に誇りを持ち、安全で、安心して暮らし続けることができる「まち」づくりを展開する。



(まちづくり塾)

<施策の基本的方向と具体的な取り組みの方向>

(1) 生活基盤の充実と老朽化対策による長寿命化の推進

- ①公共交通の利便性の向上と利用促進
- ②既存ストックの維持管理及び更新
- ③安全で便利な生活基盤の整備

(2) 地域の防災力向上に資する取り組みの推進

- ①地域防災力の強化
- ②消防・防災基盤の強化

(3) 魅力と愛着のある地域づくりの推進

- ①市民協働で創るまちづくりの推進
- ②連携中枢都市圏の推進
- ③コミュニティ活動の促進とまちなかの賑わいの創出
- ④特色のある文化活動の振興
- ⑤美しい景観の保全と活用

(4) 白山ろく地域の活性化

- ①地域資源の活用による個性の発揮
- ②産業の振興と移住・定住の促進
- ③産学官民が一体となった複合的かつ持続的な活動の推進
- ④鳥獣害対策の推進
- ⑤安全・安心な地域環境の維持・充実

<成果指標>

成果指標	基準値 (H30)	目標値 (R6)
住み良いと感じる市民の割合	72%	現状維持

## 6. 目標の達成に向けた重点的な取り組み

人口ビジョンで掲げる2060年に人口10万人の確保を実現するため、総合戦略の目標年次である2024（令和6）年には概ね111,000人の人口を維持する必要がある。そのため、基本目標ごとに成果指標及び重点的な取り組みを設定し、施策展開を図る。

### 基本目標1

しごと

商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」創生戦略

<成果指標>	基準(H30)	目標(R6)
●市内従業者数	54,992人	⇒ 55,900人
●女性の就業率	53.3%	⇒ 54.6%

#### <重点的な取り組み>

- 6次産業化の取り組み支援
- 創業支援の推進
- 企業誘致の推進

### 基本目標2

ひと

白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」創生戦略

<成果指標>	基準(H30)	目標(R6)
●人口の社会増減数	+511人	⇒ +2,500人(5年間)
●観光入込客数	485万人	⇒ 520万人

#### <重点的な取り組み>

- ◎(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備
- ◎高等教育機関との連携によるSociety5.0等を活用した地域産業の振興
- ◎地域と多様に関わる関係人口の拡大
- ◎白山の魅力の発信
- 市外からの定住者への住宅購入費等の支援
- 土地区画整理事業による宅地の整備促進

## 健康で 笑顔あふれる 白山市

目標人口：2024年で約111,000人  
⇒2060年に10万人確保

### 基本目標3

ひと

安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「健康・福祉・教育」創生戦略

<成果指標>	基準(H30)	目標(R6)
●合計特殊出生率	1.59	⇒ 1.67
●健康寿命(男性)	80.4歳	⇒ 80.6歳
(平均自立期間)(女性)	84.8歳	⇒ 85.0歳
●要介護・要支援者の割合	16.7%	⇒ 18.4%

#### <重点的な取り組み>

- ◎女性の活躍の場の創出
- ◎共生のまちづくりの推進
- 健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進
- 子育てに関する切れ目のない支援
- 若年層の新築住宅の購入への支援
- 新婚者への家賃補助
- 三世帯同居・近居の支援

### 基本目標4

まち

平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」創生戦略

<成果指標>	基準(R1)	目標(R6)
●住み良いと感じる割合	72%	⇒ 現状維持

#### <重点的な取り組み>

- ◎新たな地域コミュニティ組織による市民協働で創るまちづくりの推進
- ◎白山ろく地域の活性化に向けた地域資源の活用による個性の発揮
- 公共交通の利便性の向上
- 空き家対策の推進
- 連携中枢都市圏の推進
- 鳥獣害対策の推進

[凡例] ◎… 第2期からの新たな取り組み